

実行者紹介



鳥内 大輔
ととりべファーム代表
1979年岐阜県出身

アパレル・焼き鳥屋経営・システム系の一般企業で働いていたが、農業に関心を持ち、農家への転身を決意。岐阜県の就農者育成プログラムに参加し、いちご農家となる。いちごの栽培面積は県内一番。ぶどうや桃、さつまいもなど農業の多角経営に取り組んでいる。最新技術の導入や農業の新しいビジネスモデルへのチャレンジだけでなく、新規就農者や農業法人の経営面のコンサルタントも行い、岐阜県の農業の発展に尽力している。リターンでも個別相談を受付中。

メッセージ

様々な業種を経験した私にとって農業は、他業種と何も変わらない「ものづくり」の世界です。様々なノウハウを取り入れ、アイデアをかけ合わせてより良いものを作り出す、ここにあるのは美味しさへのこだわりとより良い農業の形を築きたいという志です。私の想いに共感しご支援くださる方への感謝を心に留め、今後も努めてまいります。



菊地 成美
ととりべファーム学生兼業/広報担当
1998年神奈川県出身

インスタ映えに強い関心を持ち、大学ではSNS・メディア制作を専攻している。

動画メディア会社のインターンで培ったノウハウをもとに、店頭の商品制作や、商品開発、スポーツ開発などのプロジェクトに参画。「ユーモアがあればどんなことでも深刻化しない」という自身の経験から、面白がれる人を増やすためにインスタ映え×自己表現のワークショップを開催している。

支援のきっかけ

事業展開に映え要素を盛り込む姿勢から、鳥内さんは「日本一映えてるいちご農家」だと思いました。映えを創造する一員として生きる鳥内さんのポテンシャルにときめき、参加を決めました。今後も映えの価値を広げていくことを軸に、ととりべファームの発展に貢献していきたいです。



高橋 ひな子
ととりべファーム学生兼業/広報担当
1999年宮城県出身

高校時代にイベントの企画・運営、SNSマーケティングのプロジェクトなどを経験し、大学では経営学を専攻している。

「計画的偶然性を大切に」をモットーに、降ってきたチャンスはとにかく掴み活動の幅を広げている。現在は岩手県遠野市に活動の拠点を移し、様々な産業の現場で働く大人から勉強中。「情熱を持って、情熱を支える」を自身のミッションとし、気づき・考え・選ぶことが出来る人が溢れる世界を目指している。

支援のきっかけ

2019年宮城県石巻市でのインターンで水産業に関わったのを契機に、食や1次・2次産業に関心を持ち始めました。何かに対して強いこだわりを持った人の「熱量」に触れて活力が湧くタイプで、ととりべファームの秘めた「美味しさへのこだわり」に共感しプロジェクトへの参加を決めました。



掛川 遥香
NPO法人G-net (岐阜県岐阜市) /コーディネーター
1993年神奈川県出身

新卒入社の際に地域に根付く企業に対してのイメージを「知られていなくてダサイ」ものから「誇らしく選びたい」ものになるための仕組み作りをしたいと考え、それらが出来るG-netに入社。インターンや兼業の仕組みを使って約100名-40社のマッチングを生んできた。ととりべファームとは、2018年インターンの受入れの手伝いをしていたことを機にプロジェクトサポートをしている。

支援のきっかけ

美味しいいちごを作るだけではなく、販売戦略にまでフォーカスをあてた鳥内さんの視点は、非常に面白く、ビジネスに関心の有る学生の目から見ても魅力的に映ることが多々あるのではないかと考えました。現在はインターンではなく「学生兼業」という形で学生に広報を依頼し、パートナーのような関わりしるるをすることで、学生にとってより魅力的な企業になっていくのではと考えています。

